

学校事故防止の徹底と不祥事の絶無 ～学校教育を支える基盤づくり～

県南教育事務所グランドデザイン

学校教育課通信

令和8年1月16日（金） 第215号
編集・発行：県南教育事務所 平山 明裕

調査へのご協力ありがとうございました ～服務倫理委員会の実施状況調査～

標記の調査につきましては、昨年末に実施したところですが、各教育委員会担当者様、各学校長様には、学期末の多忙な中、ご対応いただきましたことに感謝申し上げます。調査へのご協力ありがとうございました。

この調査により、事故防止、不祥事根絶のための各教育委員会および各学校の取り組み内容を理解することができ、当事務所としても大変参考になりました。

3学期以降、各学校の服務倫理委員会等の充実や工夫の参考としていただくために、各教育委員会や各学校において工夫して取り組んでいる事例等を紹介します。

不祥事を自分事としてとらえるために工夫した事例

- 職員のヒヤリハット体験や職場で起こりそうな不祥事を共有し、グループワークを通して、予防策やスローガンを考えた。また、スローガンをしおりにして配付するとともに、職員室に掲示した。
- テーマに基づいた不祥事防止川柳を作成し、職員室出入り口に掲示（定期的に掲示する川柳を入れ替える）して意識付けを図った。



県南教育事務所でもヒヤリハット集を作成し共有したり、不祥事根絶スローガンを設定したりしています。

不祥事根絶スローガンについては、月別にも設定し、週予定表に掲載しています。

【令和8年1月のスローガン】

「金（カネ）の処理 その日その時 その場所で」

- 毎週の打合せ内に服務倫理に関する固定枠を設け、継続して服務倫理を意識できる仕組みをつくり、「服務倫理は日常の業務の一部」という共通認識を形成した。
- 年度始と学期末に振り返りを実施した。（アンケート・セルフチェック）
- 「自分事シート」による行動計画とセーフティーネットの構築。
- グーグルカレンダーを活用し、運転免許証、車検証、自賠責保険等の期限を設定した。

服務倫理委員会を工夫した事例

- 各校の服務倫理委員会において、教育長を交え、パワハラ・セクハラ、交通事故、飲酒運転など、根絶に向けて具体的な事例を検証した。**(教育委員会の取り組み)**
- ワークショップ型の研修会とし、最後に「標語による行動宣言」を行い、職員全員で学び合う機会とし、自分事としてとらえられるようにした。
- 演習（パワーハラスメントロールプレイ）を行い、いろいろな立場から考え方や気持ちを伝え合った。「どんな気持ちになるか」「未然に防ぐにはどうすればよかつたか」「別の方法や対応の仕方はなかったか」など話し合いを通して内容を深めた。
- 県内で起きた不祥事について、自分事としてとらえることができるよう、服務倫理委員会を当番制とした。（学年持ち回りのプロジェクト型とした学校も）
- 福島県教職員相談室相談員にオンラインで服務倫理委員会に参加していただいた。外部講師による話を改めて聞くことで、職員は不祥事防止の心がけを自分事としてとらえ直すことができた。

外部からの意見を取り入れた事例

- 教育長や指導主事が学校を訪問し、職員との対話や講話を実施した。
(教育委員会の取り組み)
- 警察官を講師として招聘し、「服務」「交通規則の順守と事故防止」等についての研修会を実施した。
「服務」については、外部から教員がどのように見えているのかお話しいただくことで、自分たちを客観視することができた。
- リコージャパン株式会社から社員を講師として招聘し、情報セキュリティー研修を実施した。情報流出防止の重要性を再認識するとともに、ペーパーレス化やデジタル管理の工夫を学び、教職員一人ひとりの意識向上を図った。業務の効率化を進めることで、働き方改革にもつながった。
- 自動車学校教員を講師として招聘し、交通安全講習を実施した。
- 銀行支店長を講師として招聘し、「公金の適正な取り扱い」及び「情報管理と情報漏洩」をテーマに研修会を実施した。金融機関としての厳格な管理基準や、実際に起こり得る事例を交えた説明があり、教職員一人一人が「自分の行動が学校全体の信用に直結する」という認識を強くもつきっかけとなった。
- 福島県教職員相談室相談員に服務倫理委員会へ参加していただいた。
- 学校運営協議会において、「不祥事防止の取組について」の項目を設け、委員から意見をいただき、その内容を職員間で共有することで不祥事防止の取組に生かすようにした。



現在、県南域内では懲戒処分案件は発生していません。
これは、各教育委員会、各学校ごとに、不祥事を自分事としてとらえられるように服務倫理委員会等に取り組んでいらっしゃることの成果です。
しかし、時間の経過により研修効果が薄れてしまう可能性もあります。
繰り返しの実施で効果を持続させることも必要です。上記の事例等を参考に、引き続き、服務倫理委員会等の充実をお願いいたします。